

第3回学校運営協議会議事録

校名	大阪府立市岡高等学校
校長名	松永 淳子

開催日時	令和5年2月7日(火)16:00~
開催場所	大阪府立市岡高等学校 2階 校長室
出席者(委員)	深野康久会長、藤田正樹委員、中田昌彦委員、 木村幹彦委員、岡村あかり委員、中山貴詞委員
出席者(学校)	松永淳子校長、島和広教頭、河村未来首席、柴田卓首席、島田浩史教諭、 青木一規教諭、吉見信人教諭
協議資料	・令和4年度 学校経営計画及び学校評価 ・令和5年度 学校経営計画及び学校評価 ・令和4年度学校教育自己診断分析 ・スクールミッション(案)
議題等	
(1) 学校長あいさつ (2) 確認・報告事項 (3) 協議 ① 「令和4年度 学校教育自己診断」結果について ② 「令和4年度 学校経営計画及び学校評価」について ③ 「令和5年度 学校経営計画及び学校評価」について ④ その他	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
(2)確認・報告事項 今年度の学校経営と各種取組みの進捗状況等について ・各学年主任より現状報告 1年 合唱コンクール、クラスマッチを1月に頑張った 学年末考査に向けてスイッチが入ってきた 2年生に向けて勉強にも行事にも頑張らせたいと担任団で考えている 2年 いかに受験勉強のスタートをさせるか →二極化しており、スタートできた子と遅れている子がいる どのように3年生から取り組ませるか担任団で話し合っている 3年 共通テストの受験、国公立の出願が終了、私立大の入試の最中 卒業記念品が決定 コロナにさいなまれた3年間だったが、生徒たちは楽しく過ごすことができた 市岡高校スクールミッション案について 「わかりやすい言葉」で言い換えている、特に「自彊の精神」について注をつけた (ア)校種・立地・理念、(イ)社会的な期待についてもわかりやすく、平易な言葉で説明した	

(3)協議

① 「令和4年度 学校教育自己診断」結果について

保護者用、生徒用、教員用の3つに分かれている(数値は%表示)

サンプル数…保護者 80 名、生徒 860 名、教員 50 名

1、市岡に入学して満足(生徒用アンケート、保護者用アンケート 1 番)

昨年より増加し、90%を超えている

2、授業参観、学校行事に参加できた(保護者用アンケート 21 番)

増加した コロナが緩和され、授業参観や体育祭に保護者が参加できた

3、行事に楽しく参加できた(生徒用アンケート 5 番) 文化祭も2日になった

4、学校内でほかの教員の授業を見る機会がよくある(教員用アンケート 6 番)

取り組みとして、授業見学週間を実施

5、教員の行事の工夫(教員用アンケート 13 番)

増加した 体育祭の外部開催が顕著だった

② 「令和4年度 学校経営計画及び学校評価」について

・ p.2 の一番上「3%以上、上下動した項目」 様々な部分で増加している

・ 遅刻数は増加しており、問題は解決されていない

・ 欠席数は減少している ・ いかに遅刻を減らすかが課題

・ (3)安全で安心な学校をつくる(エ)(オ)はうまくいっている

学習支援の%がなぜ増加したのか

→授業中、授業外でも GoogleClassroom の活用が大きい

どんどんツールを使うと数値は上がるのではないか

「入学して満足している」の数が非常に多い

→生徒や保護者の高い肯定感につながっている

ポストコロナとは何なのか、子どもはマスクをはずしたがるのではないのか

→伊丹市教育委員会はマスクをはずしたときの教育相談を1つの柱に考えている

新任の先生が3年間マスクをはずしたまま授業を行ってきたが、これからどうしていくか。また、教員も生徒もマスクをはずしたポストコロナに向けたクラス経営、授業への取り組みはどうするのか大きな課題となっている。マスクをはずしたい子とはずしたくない子の「マスクいじめ」はでてこないのか。現状、体育の授業ではマスクをはずしている。

③ 「令和5年度 学校経営計画及び学校評価」について

・ 1 について 大きく変更はない、進路実績は全体の1割ぐらいの国公立合格者数としている

・ 2 について 学習と自主活動の両立は変えていない

・ 3 について 「ユネスコスクール」という文言を省いた

国際交流→国内や地域での交流に変更した

④ その他

- ・ これからの学校経営にはポストコロナの観点が入ってくるのではないか
- ・ 学校とほかの組織(PTA や SC など)との連携が大切
- ・ 3 年計画の見通しをもって生徒を育てていく必要がある
- ・ ベテランの先生から新しい先生への世代交代に直面している
- ・ 生徒に多くを要求していないので満足してしまっているのではないか
- ・ 保護者に学校の情報をもっと発信していく
- ・ 勉強時間が短くなってきている
- ・ スクールビジョンは行政に単に出すのではなく、教員、保護者、生徒で共有して実践していく